

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2 年 12月 29 日

事業所名 とも生活館おひさま

|                  |    | チェック項目   | はい | いいえ | 工夫している点   | 課題や改善すべき点を踏まえた<br>改善内容又は改善目標 |
|------------------|----|--|----|-----|---|------------------------------|
| 環境・<br>体制整備      | 1  | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である                                  | ○  |     | 活動に合わせて仕切れるようにしています。  |                              |
|                  | 2  | 職員の配置数は適切である   | ○  |     | 多く配置されています。   |                              |
|                  | 3  | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている                           | ○  |     | 利用者さんの状況に応じて対応しています。  |                              |
| 業務改善             | 4  | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している                | ○  |     | 利用される方の目標に達することができるよう全職員で計画をもとに取り組んでいます。  |                              |
|                  | 5  | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている     | ○  |     | 毎年1回事業所アンケートを実施し、保護者のご意向を把握して改善に取り組んでいます。アンケート以外でも随時ご意見を頂けるようお願いしています。  |                              |
|                  | 6  | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している                           | ○  |     | ホームページで公表しています。   |                              |
|                  | 7  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている                             |    | ○   | 第三者評価の実施に至っていません。   | 今後行っていく予定です。                 |
|                  | 8  | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している                                | ○  |     | 年間計画に基づいて研修を実施しています。今年度はオンラインでの外部研修にも参加しました。  |                              |
|                  | 9  | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | ○  |     | アセスメントの前後でカンファレンスを行いながら作成しています。   |                              |
| 適切な<br>支援の<br>提供 | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している                 | ○  |     | グラフで視覚的に成長の経過がわかるものを使用しています。  |                              |
|                  | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている                                       | ○  |     | チームで行っています。   |                              |
|                  | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している                                     | ○  |     | 安心して通所できるように少しずつ変化させています。学年が上がるにつれ、将来の夢や「はたらく」についてもイメージが持てる取り組みを行っています。保護者への発表の機会をつくり、ダイナミックにほめてもらったり、見直しを持つ取り組みも実施しています。 |                              |
|                  | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している                         | ○  |     | 休日や長期休暇中は平日にできないプログラムを準備しています。  |                              |
|                  | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している            | ○  |     | 状況に応じて個別の活動も取り入れています。   |                              |

|              |    |   |   |  |   |                                       |
|--------------|----|---|---|--|---|---------------------------------------|
|              | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している                        | ○ |  | 個々に合ったアプローチができるようにしています。  |                                       |
|              | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している                   | ○ |  | 共有しています。  |                                       |
|              | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている                               | ○ |  | PDCAサイクルで行っています。  |                                       |
|              | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している                             | ○ |  | 定期的なモニタリングを必要に応じて随時行っています。  |                                       |
|              | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている                                    | ○ |  | ガイドラインに基づき支援を行っています。  |                                       |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している                     | ○ |  | 管理者や児童発達支援管理責任者が参加しています。  |                                       |
|              | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | ○ |  | 保健師、保育士、教諭等と保護者様の同意を得た上で連携を図っています。  |                                       |
|              | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている                             | — |  |   | 現在は受け入れを行っていませんが、必要に応じて対応できるようにしています。 |
|              | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている                | ○ |  | 必要に応じて対応しています。  |                                       |
|              | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している     | ○ |  | 行っています。   |                                       |
|              | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている                          | ○ |  | 参加しています。研修会の取り組み状況、行政の情報、地域での情報等を共有したりしています。  |                                       |
|              | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある                                 | ○ |  | こまめに教諭や保育者と連携を図り、保育園、幼稚園に訪問したり、おひさまにお迎えしたりして同じ方向性で支援がつながるように取り組んでいます。                   |                                       |
|              | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している   | ○ |  | 子ども部会の参加は対象となっていない為、参加に至っていません。南部保健センターでの会議に積極的に参加し地域の民生委員、児童委員、幼稚園、保育園の先生方との連携を図っています。 |                                       |
|              | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている                        | ○ |  | 送迎時や面談、電話、連絡帳などを通して共通理解できるようにしています。   |                                       |
|              | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている                       | ○ |  | 毎年ペアレント・トレーニングを開催していますが、今年度はコロナ禍の為、延期致しました。   |                                       |
|              | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている                                      | ○ |  | 契約時や変更時に行っています。   |                                       |

|            |                           |  |   |                                |  |                                 |
|------------|---------------------------|--|---|--------------------------------|--|---------------------------------|
| 保護者への説明責任等 | 31                        | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている                                       | ○ |                                | 随時対応させて頂いています。   |                                 |
|            | 32                        | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している                                   | ○ |                                | コロナ禍ということで9月の家族会は書面開催とさせて頂きました。  | 2月の家族会は安全に配慮しながら実施できるよう検討しています。 |
|            | 33                        | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している             | ○ |                                | 敏速に対応できるようにしています。  |                                 |
|            | 34                        | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している                               | ○ |                                | おたよりを月に1回発行しています   |                                 |
|            | 35                        | 個人情報に十分注意している  | ○ |                                | 鍵付きの書庫やPCにはパスワードをかけて対応しています。関係機関との情報共有は同意を得てから行っています。  |                                 |
|            | 36                        | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている   | ○ |                                | 個々に合わせて対応させて頂いています。  |                                 |
|            | 37                        | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている   | ○ |                                | 毎年、法人で秋まつりや餅つきを開催していますが、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い見合わせました。「子ども110番の家」の取り組みは継続しています。   |                                 |
| 非常時等の対応    | 38                        | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している                                | ○ |                                | 家族会やお便りで周知して頂いております。玄関にも掲示しております。  |                                 |
|            | 39                        | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている   | ○ |                                | 年2回の立ち合い訓練と自主訓練を行っています。  |                                 |
|            | 40                        | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている   | ○ |                                | 職員一人ひとりが定期的に研修を受けております。お子様の人格・気持ちを受け止める取り組みを行っています。  |                                 |
|            | 41                        | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | ○ |                                | 身体拘束廃止・虐待防止・権利擁護は法人全体の研修を十分に行い、未然防止の共通認識を図っています。身体拘束に相当する行為は、非代替性で生命に関わる場合以外で行うことは想定していませんが、事例はありません。仮に拘束が必要と思われる場合は、事前に保護者に説明し、了解を得たうえで行うことになると考えています。現在はサービス計画への記載を必要とする利用児がないため記載には至っていません。 |                                 |
|            | 42                        | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている   | ○ |                                | アレルギーがある場合は指示書をもらい対応しています。   |                                 |
| 43         | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | ○  |   | その都度報告書を作成し、共有し再発の防止に取り組んでいます。 |  |                                 |